ソチオリンピックと日ロ



1

ソチオリンピック



2

ソチオリンピック



3

ソチオリンピック



4

カフカスの状況



5

チェチェンの安定



6

テロの脅威



7

ソチと日口外交



8





9

安倍・プーチン



10





6

プーチン・安倍政権への対応

- ・ 安倍長期政権との間で対日関係を打開したい
- 対日関係打開のためには平和条約は不可欠
- ・領土問題について対日戦略が定まっている のか? 具体的な中身は不明

13

安倍政権の対ロシア政策

- ・ 戦後政治の総決算
- 自らの政権の間に対口関係の抜本的打開を 目指す
- 中国を睨んだ地政学的外交
- 日口関係の未来図を描く
- 領土問題の解決が不可欠
- 相互に受け入れ可能な最終的な解決

14





プーチン発言・領土問題

- ●サンクトでの日口首脳会談 「勝者もなく、敗者もない解決」
- ●ダリ・APEC日ロ首脳会談 記者会見

平和条約を夢見るだけでなく、それに向けた 実際の作業を行うための条件を創り出している

17



18







21

ユーラシアの発見 東に向かうロシア



ロシアはこれまでアジアもあるにもかかわらず ヨーロッパへの統合を目指してきた。 しかし今やロシアは自らを世界の中心、 ユーラシアであることを発見した。

エレーヌ・カレール=ダンコース

22

世界の一つの極としてのロシアユーラシアの確立

〇アメリカとともに中国が超大国として出現

- ●本格的な極東・シベリア開発を始める。 アジア太平洋経済圏への参入を目指す
- ●中国との安定した平等な関係の確立・国境線の画定。
- ●アメリカとの対等な関係・戦略的互恵関係を確立する。 安全保障面での共通利益
- ●ドイツを中心にヨーロッパとの戦略的パートナー関係を強化する。
- ●旧ソビエト諸国での影響圏を維持する・核心的利益。
- ●潜在的には西のドイツ、東の日本を戦略パートナーと したい。

23

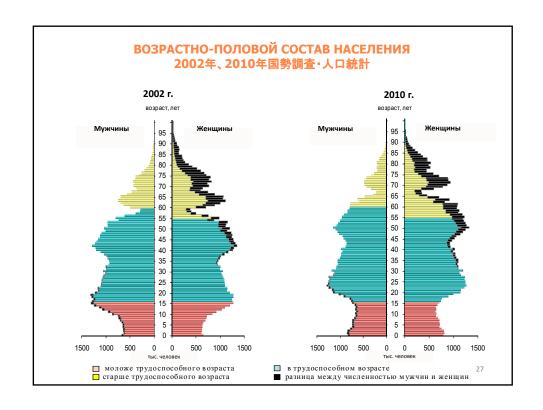
プーチンの優先課題

- ・ 人口減少の克服
- 国家統一の維持・東シベリア・極東の開発
- 新たな質の高い雇用の創出(ソビエト以来の 非効率的企業城下町・職場の整理)
- 新たな経済の構築・国際的に競争力のある
- 旧ソビエト内での統一の維持

24













東シベリア太平洋パイプライン 2012年完成



монголия вт. ст.

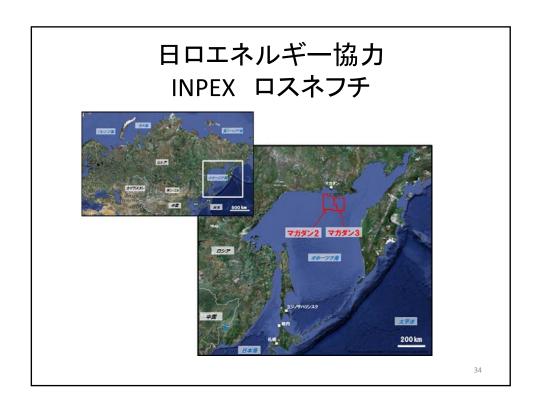
総延長 4300キロ 決定から完成まで8年 東シベリアのタイシェットから ナホトカ近くの新たなターミナル・コジミノまで 中国国境から中国向けの支線(1500万トン) コジミノ港へ現在3000万トン 今後5000万トンまで拡張予定 ESPO原油 低硫黄・軽質・ 良質であり若干高価だが、輸送距離が短く 日本の総輸入量のすでに10%

新たな石油ターミナル・コジミノ港

31



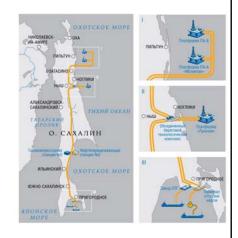




日ロエネルギー協力 サハリン1、2



サハリン1 ロスネフチ、エクソンモービル SODECO、ONGC(インド)



サハリン2 三井・三菱、シェル、ガスプロム

25

サハリン日本パイプライン

- 日口双方にとってメリットのある事業
- 国土強靭化の観点から有効
- ・ 首都東京へのガス供給
- ・ 国土の2機軸化
- 安価な天然ガスへのアクセス
- LNG+天然ガスという輸入方法の多極化
- ・ ロシア北東アジアに優良顧客の確保
- 極東での初の国際パイプライン
- 採算ライン LNG換算で年間600万トン以上
- ・ 日本の全輸入量の10%以下

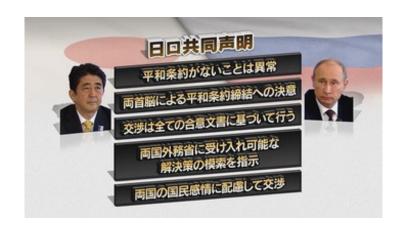
36

2013年4月・日口首脳会談平和条約交渉加速化で一致

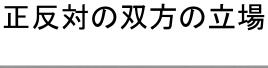


37

日口共同声明



38





39

日ロの戦略的関係構築



日口の戦略的利益の一致点

- ロシアと日本にとって、両国関係はアメリカ、 中国を睨んだ外交の独自性の強化。
- ・日口は戦前とは異なり、お互いに仮想敵国、 双方の存在にとって死活的な隣国ではない。
- 敵国でもないが、同盟国でもない。
- ・ 両国関係の強化は双方にとって利益。
- ・ 中国の台頭を睨んだ日口の戦略的利益の一 致。

41

プーチンから見た日本

- 西のドイツとともに東の日本はロシアにとって
- 理想的な戦略的パートナーとなりうる。
- ユーラシア主義の立場からは、つまりアメリカでもなく、中国でもないユーラシアの大国としては、東と西に経済的、政治的なパートナーが欲しい。
- ・日口関係・防衛・安全保障を含む戦略対話・ 関係強化が必要。

42

ロシアの対中国外交



43

領土問題と経済関係

• 日本商品にとってはロシアは良いお得意様 良好な対日感情・日本ブランドへの信仰

欧米に比べ小売りの進出が不足(IKEA、アシャン、メトロ)

- 相互利益に基づく企業進出・直接投資 モスクワ・サンクトからカルーガ・ヤロスラブリ・ウラジオストクなど地方へ 広がる直接投資
- •今後エネルギーの巨大プロジェクト(サハリン3、 東シベリア、北極圏開発)
- •ヨーロッパ市場の低迷の中で日本はロシアの天 然ガスなどエネルギーにとって最重要なお得意様

44